

有田医師会 在宅医療サポートセンターだより

平成30年2月 第3号

新年のごあいさつ



新年明けましておめでとうございます。

一昨年4月に有田医師会に在宅医療サポートセンターを創設し、もうすぐ二年になります。

このセンターは在宅での療養を希望される患者様と家族様が安心して生活できるようにサポートすることが目的であり、現在は和歌山県の支援により運営されています。(次年度からは有田郡3町)

センター内に専門のスタッフを置き、退院後に在宅療養を希望される患者様に対して、在宅医療実施医を紹介し、有田管内の6病院を後方支援病院に登録させていただいております。

関係機関のご協力をいただき、1年間で在宅医紹介15件、相談や問い合わせが13件ありました。また在宅医療に関する研修会の開催、サポートセンターだよりの発行、ホームページ開設など在宅医療に関する活動を行ってきました。さらに、在宅医療に関わる方たちとの連携を深めるために、メーリングリストを設置し、「在宅医療サポートセンターと仲間たちの会」を計7回開催しました。有田地方介護連携の会、認知症に関する数々のイベントにも参加し、多職種の方々と顔の見える関係の構築に努めています。このような活動ができるのも関係各位のご協力のおかげと感謝しています。

高齢化社会が進む中、国は「入院から在宅へ」と舵を切りました。有田の在宅医療を充実させ、安心して在宅医療、在宅介護を受けられる様に当センターも尽力してまいります。地域の方々をはじめ医療、介護関係の相談をお待ちしております。

今後も当センターへのご支援をお願い申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。

有田医師会在宅医療サポートセンター
センター長 横矢 行弘

「多職種ネットワークシステム」体験会

～平成29年3月11日(土) 橋家にて～

医療・介護に携わっている方々54名にご参加いただきました。有田医師会では、多職種連携に活用できる医療介護専用開発された完全非公開型SNS「メディカルケアステーション(MCS)」を導入しました。この体験会では、MCSとはどういうものかの説明を聞いた後、実際に端末を用いて操作の体験をしました。この体験会を経て、医療介護に携わるたくさんの方々からMCSにご登録くださり、多職種間での情報の共有等に活用していただいております。「登録したいけどどうしたらいいの?」「MCSってなに?」等、お気軽にお問合せ下さい



認知症フォーラム2017

～平成29年8月28日(月) 金屋文化保健センターにて～

認知症の方の思いや認知症の理解を深めることなどを目的に開催されている「認知症フォーラム」に今年もおじゃましました。当センターの副センター長であり認知症サポート医である野田先生が総司会を務めました。当センターを広く皆様にご紹介させていただくため、サポートセンターってこういうところ等、紹介させていただきました。



平成29年度「在宅医療サポートセンターと仲間たちの会」

「顔の見える関係づくり」を目的に開催しています。それぞれが抱える問題を話し合ったり、情報交換の場となっています。

平成29年 4月10日(月) ～訪問介護事業所の巻～
平成29年 6月14日(水) ～地域連携室の巻～
平成29年 7月19日(水) ～地域包括支援センターの巻～
平成29年 9月 6日(水) ～訪問看護ステーションの巻～
平成29年10月 4日(水) ～相談員部会の巻～
平成29年11月29日(水) ～いろんな施設の巻～



これからの講演会・研修会の予定

平成29年度医療と介護連携研修会

日時：平成30年3月3日(土) 14:00～16:00 場所：橋家
講師：長谷 剛志 先生(公立能登総合病院 歯科口腔外科部長)
演題：「地域包括ケアが求める高齢者の食支援をめざして」
～「食べる力」の見える化と連携の構築～
●対象者：医療・介護関係者、行政職員



ご相談・お問合せは

有田医師会在宅医療サポートセンター



〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅4230-77

TEL: 090-6970-6303 FAX: 0737-63-6309

HP: <http://www.arida-support.com/>

ご存知ですか？

有田地方地域連携パス ～もしものためのノート～

知っているようで、意外と知らない・・・。覚えているようで、案外覚えていない・・・。
家族に関すること、生活に関すること、医療に関すること。

『もしものためのノート』は、あなたに関するさまざまな情報をわかりやすくまとめておくためのノートです。
かかりつけ医や訪問看護ステーション、介護サービスなどで情報を共有し、スムーズに医療や介護が受けられることを目指して作成されました。

エンディングの部分は、若いうち、元気なうちから使うことで、あなた自身の「生き方」について、ご家族や周囲の人たちと一緒に話し合える機会がもてます。

万が一の場合、延命治療はどうするのか、人生の最期はどこで過ごしたいか、など自分の意思を明確に記すことができます。

普段は面と向かって言えない、家族や友人・大切な人へのメッセージも一緒に残せます。

考えや状況は変わることがあります。時々見直したり書き足したりしてあなた自身のノートを作成しましょう。

ご希望の方には『もしものためのノート』を差し上げます。お気軽にご連絡ください



お気軽に
おたずねください



有田医師会在宅医療サポートセンター

有田郡湯浅町湯浅2430-77

内容の一部です



090-6970-6303

